



平安全寸





丸印文庫

源語梯下自安至寸

あ

虎詞 **あやにく** 相ニマロザレアヤニクナリシツカシトアリ。御志ノイヂワルキナリ。生憎可

憎ノ字ヲ。杜待遊仙窟ナドニアヤニクトモ。アナニク氏ヨメリ。 **あざ** 意ニアヤニクナル短夜トアルモ。心ナキ短夜は意シ。

や **あつ** イツカタニツケテモアガヤカナルニトアリ。オホエノキラクシキナリ。常ニ鮮ノ字ヲアガヤカトヨリ。遊仙窟ニハ

驚新ノ字ヲ訓セリ。 **あつく** イトアツレクナリ。ユキトアリ。執ツ

明清ノ義ナルベシ。 **あいなく** 美トイヘド。病ノ危篤ナト云。篤ノ字ノ無愛ナ

ア



あぢあぢなう

無味氣ナリ。人ノ情ヲ五味ニタトヘテ。心ヨキヲウニシ。難哉ナルヲカラシナド

イヘリ。心ニカナハデシヤウノナキヲアガキナレトイヘリ。俗ニニガシキト云フナドオモフベシ。無道無状無為等ノ字

ヲアガキナレトヨメル。アサシキニテ目モ其意カヨヘリ。あさまし

アリ。俗ニケウノサムルケウガル。あへなく 御使モイト

ナト云喜ナリ。何ニテモ甚キヲ云。アナハ嘆息ノ詞ニテ。カチ

リニ并リヌトアリ。あなから 日本紀ニ惜ノ字ヲヨ

ヨメリ。ヨキ意シ。あたらし 愛惜ノ古語ナリ。今モアワタラモノナドイフ同シ言ナリ。新ヲアタラシムモ同義シ

シヒテト云ニ同シ。あともい アラ、ホシキ御アハヒトナリ。髪ノスキカゲイトアタラシクメテタクミユトナリ。単衣ノ下ニキコメ

タル髪ノ透影 愛スベキヲ云シ。あな 俗ニア、アラ、ナト多ク我心ニアタリテノ事ノ切ナルヲ云アラアツヤアラサムヤナト

あそび 此物語ニアソビト

色シアサバトアリ。色アヒノ 浅クナル。意ニモイヘリ。あそび 遊ヒ事ノ種トナル。源ノ幼

音楽ノ 音ナリ。あそびぐさ ニテアイラシキヲイヘリ。あけおとり イトカウキビハナルホドバアゲオトリヤトシ

あためく 夕ガハレクオボサレルヲトナリ。アゲハ元服ノ時髪ヲトリアグル。童ニテニメヨキガ元服ヲレテ見オトリスルヲ云ナリ。

あ 暈色メクナリ。日本紀ニ放逸ノ字ヲヨメリ。好色ヲイヘリ。ア多ハイタツラナルヲイヘリ。無益ナル。化字及字ヲヨリ。

ア



むれたらん アレタルナリ。コ、ニハ家ノアル、ヲイヘリ あまつかよ

アツカニサシアラギ井タラシトアリ。 ナガ あえま ナガ

アハクシクシセツニナキヲ云ヘリ ナガ あいざわら ナガ

ギリニゾアエミシトアリ。日本紀ニ肖ノ ナガ あいざわら ナガ

字ヲヨメリ。アヤカラセタキト云意シ ナガ あいざわら ナガ

愛スベキサナリ。愛形ナド書ヘキ ナガ あいざわら ナガ

キヤウノシメスナリ。新枕ノイラフグニテイヘルナルベシ ナガ あいざわら ナガ

かま カマ あたら アタル ある アル

リヌノ反ルニ家ニアルヌシノ義ニ ナガ あいざわら ナガ

ルジニフケナドイヘリ。諸社ノ祭ニ飯スエヨトイフ ナガ あいざわら ナガ

ニニアルジツカフニツレトモイヘリ ナガ あいざわら ナガ

アルジトイヘルハスゴクサビシキモ ナガ あいざわら ナガ

だの ダノ 年月ヲカサ子 ナガ あいざわら ナガ

又タノム ナガ あいざわら ナガ

タノム ナガ あいざわら ナガ

ニトアリ ナガ あいざわら ナガ

多約ウ ナガ あいざわら ナガ

ナリ ナガ あいざわら ナガ

ニ注ス ナガ あいざわら ナガ

アリ ナガ あいざわら ナガ

ア

あまつつけ アサク

あ アサク

あ アサク

あ アサク

あ アサク







えあをーき

アハくシキ御フルニヒトアリアハタシクブコツナルヲ云ト注セリ

又アハくシキハ水クサク

あいのふ

ウキ世ヲミアツカフトアリアツカ

フハモト熱キト云ヨリ出タル内ニテ

あがし

〔室〕日本

今ハウキ世ノ事ニセハヲヤクヲイヘリ  
ヒノ字ヲアガレニグトヨメリ今ハ禁中ヨリ退出スルヲ云又アカシノオンアガレトアルハ流ノ義ナリト注スイカ、考ベシ

あかぬところなし

〔葵〕ウチソバミハチラヒ玉ヘル御サアカ又所

ナシトアリアカヌハ不足ナリタラヌ

あからさま

呼ナク十分ナルヲ云フナルベシ  
アカラサニ立出侍ルニツケニトアリ日本紀ニ急ノ子倭ノ忽之間ナドノ字ヲアカラサニトヨメリレバンノホドナリ後ニ白

地ノ字ヲヨミセシハ明様ノ義ニ

アリノ

あひなく

此

一、ニ打出シ明ス意ニテ本義ヲ轉セリ  
詞両々ニ出テ愛ナクト聞ナクトノ別ハ其文ノツギキニテ考ヘシ又あひなくト云ニスグサナル意オモヒヨラ又ナド云キニ

モアル

あさり

アトモニアサリシテトアリ魚名抄ニ朝ニ漁リスルヲアサリト云ヒタニスルヲイサリナリ

ト云ト云シアサルト云ハ搜ノ義ニ俗ニアセリ

あついた

まへる

〔零〕タモシゲナクノミアツイトアリ日本紀ニ篤癩ノ字ヲアツイトヨメリ病ノ重キヲ云ナリ

あいなれさかーらや

〔関〕サカシラハ賢良ノ字ヲ万葉ニヨミセ俗

ニカシコダテトイフガ如シソレヨリ人ヲ諛スルヲモイヘリ今ハスゲナキワルクチヤナトイフキニナリ

あとと



くらうなし

繪古ノスミガキノ上手氏アトラクラ  
ウナレツベカメレバトアリアトラクラミ

ニゲカクル、ラ云上手ノ画エモ源氏ノ繪ヲ  
見テハ恥テニゲカクルベシト評セルナリ

あざげす

さきたる

色好ムノ甚レキナリスベテアタゲト  
云内ハアダナルケレキアタヘテトモイヘリ

あ

てあてれこまげ

乙女房ノ曹司ニチ氏アテク  
ノコミケトアリ宛々ノ細分ノ

あふさず

アフレサセズナリ不溢ト書  
オトレアフサズトアリ

あ

たまれて

此ゲニミアタミレトアリアタハ當ノ  
敵對ナリ人ニミラニルノキミナリ石葉

あへなん

且相當センナリコハハサリ  
表ヲ贈リタルハ相應ノ

トイヘルナリ。アハ合ノ後ハセノ  
堪ナシ取ナシ取キユル所アレト

あへなかるべし

留コハ人ノ大切ニセシ留ヲ僧  
ニホドコサンハアイサウモナキフ

あーのけのほりたるらち

す 霧脚氣心ヲツク あたへかくして

スナリ。アタハアタシト云ト同シ辞ナリ。但シ日本、紀、他ノ字  
異ノ字ナドヲアタシトヨメリ。アタシ心ナドイヘルハ助辞ナリ。

あざへたる

タ、ウチアサ、タ  
ル思ヒノミ、道

あはのぬことわ

ア



里や 竹アハノ御コトワリヤトウチワラヒテオハストアリ  
アトハ浅々トカロキマウノ子シゴロニナキラム

あいだちななく 寄アヒダチナクソウレヘモフト  
アリ。アイタテナクナリ。アチキナ

キト あふなく 東アヤレクアヲナク人ノオモハン所ト  
アリ。アフハ奥ナリ。奥フカ、ラスア

サアサレ あぶきん 世ニアブレシモシラスカホニテ。キカ  
シコソトアリ。世ニアミサル、シ。バフ

レト云モ同、ホレイマ、ニ アテビテモオ  
スルヨリ。人ニモハナタル、ナリ アテビテモ  
アフハ貴人ナリ。貴人ナカラモ。其フリヲセス。ゲス

チカウ。ホコリ高ゾラヌライヘリ。ブリノ反リビナリ  
天地時候 良オニツカヒ雨ノアレヨリノモケ  
あめのつゆ レゲレトアリ。雨脚急リト

詩ニモ 作レリ あーわかのら 壁アレワカノウラニニルメ  
ハカタク用トアリ。草ノ若キ

ニワカノ浦 明スニハイト心ホソクテア  
ヲヨセタリ トノイハヤモシレナリ。レフ

トアリ海人 松年ゴロアレドフヲ思ヒ  
ノスミカラズ あれまどふ 出テ。又末アハレニサビレウ。

アレドヘルナトアリ。家ノ 野サヤカナラヌアケ  
アレニ。ソコトモナキラ云 グレノホドトアリ。夜

ノ明ル時分ハ暗ク 葉夏  
ナルヤウナルライヘリ あさすみのほど ノアツ

キコロ。朝陰 アレコニコモリナントアリア  
ニ行ライヘリ あーここに レコハ彼處ナリ 寄ニアレコ

モト氏 露朝露ノ思  
イヘリ あさつゆのねもはん シ所ニ猶サラバ

ア



オホシレレヨトアリ。六帖ニイカデ猶アリトシラセシ高砂ノ松ノ  
思ハシトモハツカシト魚情ノモノニオモハセタルヲ更ニ露ノ思ハシ  
トハメツラシキ

書サマナリ

人倫 **あだん** 帝スキガレキアダビトナリトアリ。色好ム人ヲ云フ。アダトハ化ノ字。泛ノ字ナドヲヨ

支休 **あそん** コハハミテ。シツカリトセヌライヘリ。アダシトイフモ。シハ助詞ニテ同シ。好色ノ人ノウツリ気タルヲ云。あそん 紀伊

守ヲサレテイヘルシ。アソシモト阿曾美ト書テ。我身ニ副ノ義トシ。帝王相親ノ詞ナリ。古言ニアソトノミモイヘリ。朝臣ノ字

ヲ用ルハ。朝廷ノ臣ト云フニテ。訓ハ朝臣ノ略ナリ。 **あてひと** アアヒト、ミエタリト

アリイヤレカラヌ **あこ** アコハスレナトアリ。幼少ノウルハシキ人ヲ云。アコハモノヲタレミテ吾兒ト云 **あぢ**

**あそび** 原シトハハジタ、ルホドシ **あそびかた** 紫御

カタキドモトアリ。遊ヒ遊ヒ **あそび** 零アソビドモノツド遊ヒ相持トイフヲナリ。ヒニ井レトアリ。遊

女ヲ **あげまさ** 蓬童ナリコ、ハ牛馬ヲカフモノヲ云。イフ。總角ノ字ヲ用テ。結纏ノ義。結髪

ノ字ヲカミアゲトヨメリ。 **あてき** 玉小女ノ名ナリアテアゲハ結ト云フナリ。ト云ヲ名ニテキトハキ

ミト云フニヤ紫式部日記ニモアテキカヌフモノ、 **あつかは**

カサ子氏見エテ其比ノ童女ノ通名ナルベシ。 **あつ**

**あ** 蜜アツカハレキサミダレ髪ノミダルトアリ。暑氣ノ時分。髪ノ内モ。ワクト云が如し。あいたき

て **あかきみ** 栞イトワカヤカニナメキ。アイダレトアリ。ケハビノナヨビ過テ。俗ニバツクト云が如し。あかきみ

ア



源語梯下ハ

君ナリ。サキノ人ヲタフトミアガメテ。我アフダ君ト云フ。アガキミト手ヲスルトアリ。ウツホ物語ニワガ君ホトケ氏云リ。あか

ほとけ 習ワガタノミオモニスル 人ヲ佛ニナレテ云ナリ。

服食 器財 あさがきし 匣アサガシヒノケシキバカリト 朝餉ハ天子ノ供御ヲイフ

辞シ。供御トハ毎月ノ朔日節句等ニソナフルヲ云。カレヒハ乾飯ナリ。燃ノレキニ對シイフナルベシ。あふぎ

あいつま 紫コブノラスガキニ たり 頁白キ扇ノイタウコガ たる シタルトアリ 焼物ノ香

ノシミタルナリ。焼物ト云ヨリ。あづま アツマハ和琴 ヤカテ香ノコゲツキタルト云シ。

ノ總名ニテ。此アツマハ東國ノアラス。西上ニ對シ云。あま 掃ナラス手事ヲ云ナ スガキハ清掃ニテ。唱哥ナク曲。

関色ノアヲノツキ。ツキキキ又 行衣ノ類 あこめ 襦袢 襦袢ト書テ。アフトヨメルハ轉音ナリ。

レト袖ヲアコメトヨムニアラス。吾子女。幼女ヲ愛レテ。あま 字ヲ用 云詞シ其吾子女ノキル服オハニナリ。前葵ニモ出タリ。

あつ 雲御ハカレアマガツヤツノモノトリテノルトアリ。今ノ世ノ御 嬪子ノ類ニテ。凶事ヲコレニオホスルコトハ三歳ノ姫君ノ

車ニル時ノ守リノモノニテ。三歳マデハ用ルトシ。あくら

蝶 ガクヤノサニシカリニアダラトモラメシタリトアリ。 あらば

アムラハ床机ノミテ。足座ノ義シ。胡床ノ字ヲヨメリ。あざ

あざ 蘭此御アラハ衣ノ色ナクバエコソ思玉ワ ころも クマジカリケトアリ。衣ノ色品ニテ。シノ人

あか 檀紅裳シダレ かも ナ井ノハカミヲ云 あい あいでう

ア



あ

**梅** アレデウ多エヲ思ヒクニカケトノタマハトアリ。アレデウタ  
エノ。諸説分明ナラズ。五月雨記ニ香包ハ必スアレデウガキ

ニスベトアリ。哥トドヲカクニ。詞ニ  
繪ヲミシヘテ書ヲ多ハイヘリ

あやめ

**菜** ムヅラ。キア  
ヤメラツタレトアリ。

アマト云ハ。文理ノ義ニ。  
コハカサリ。ホリモノヲ云ヘリ

あをよびのおもて

おりにて

セセウノヲレキニ。アラニビノオモテ織テトアリ。此  
事未詳。青鈍トハ花田ニ青ヲノミシレルトイヘリ。

尼ナドノ用ル色ト。胡曹抄ニ見ユ。折敷ノオモテ  
ニハリタル絹モ。尼トハニビ色丸ト注セリ。

あをじ

アラジノカギリニテトアリ。茶碗。青磁ノ色シゴハ  
絹ノ色ニイリ。カギリトハ各此色ノキヌヲシキタルニ

あつこえ

たるかみ。年ヘニケレド。キハミアツコエタルトアリ。アツクテラ  
ツ。カナル紙ニハナリ。キバミトハ必ス。ス。ナタル

あかづき

**虫** ナラズ。ノカヅキノオト。水ノケハナド  
キユル。アリ。アカトハ水ノ。梵語ニ

開加トアルハ。香水ヲ盛ル器ノ名ナリ。假テ水ノ  
トス哥ニモ。アカノ水トヨメリ。ツキハ器ノ水ヲ入ル器ニ

あーろ

びやうぶ

**推** 山里ビクルアジロ屏風ナドノコトサラニコトシキ  
テトアリ。アジロハアムシロノ。毛ニテ。竹ヲヘキテ

クニタルムシロナリ。ソレヲ屏風ニハリテ  
用ル。又アジロ天井アリ。世継ニ見エタリ

あふり

**舟** 和  
名抄ニ

障泥ヲヨメリ。アフツト云ヲ。其名ニセル。是用ヲ弊ニスルナリ。  
アフツ。今ハアツ。又アツ。凡木トイヘリ。故ニコレヲモアツトイヘリ

さ

虚詞  
人事

さーあたりて

**相** 時ニアタリテナリ  
眼前ノコトイヘリ

サ



か カレコクナリ。栄ル さと カチ モノ心ボソ

ナラトアリ。官仕ニ對シテ我家ヲ里ト云俗ニ親サトナト云ニ

同レ。凡テ何かチナト云。カチト云。詞ハ多ノ字ノ意ナリ。和名抄ニ

多心ノ字ヲ。奈賀古賀遲トヨメリ。奈賀古ハ心ノ字。賀遲ハ多字ノ訓シ さうざうし

サウクシク。心ヤシク さるべきもの ルヘキ

トイフ言ハ さえかしこき カキ

モイフ さればみたる 語サレバト云 詞所

ジテ。訓レ さかし カチ

スル例ナリ ささばし サバレトオホセ。凡サモオホレハツ。シ

もへたる 其ヨリニカ さし カチ

ナレシテモシヤレタト云ハ異 ささ サカレ。例モイニ玉フ

風ナルサ。ヲ云。バミハ其形容ヲ云 ささ カタナリトナリ。サスラ

シカ ささ サバレトオホセ。凡サモオホレハツ。シ

フクニシ目ニ ささ カチ

涙ヲフシムナリ ささ カチ

万葉ニヨメルハオソロレキ意シ。コハ嫉妬 ささ カチ

クニイヘリ。子タミ心ノオソロレキライフニヤ ささ カチ

いたる さす カチ

離。流沈等ノ字ヲ。日本紀ニヨメリ。オチブル。ナリ。左 さす カチ

④



やう

イトサ、ヤカニテウエ、シゲモナクトアリ、ハサキナリ  
サト云ハ狹ナリセハ友サシ小字モサトヨメルハ同意シ

さ

うどけ

キハフ、レウサウドケトアリ、  
イツガハレクモノサウガキナリ

さきも

おもせたまはず

良御車モイタウヤツシタニヘリ、サ  
キモオハセタハズトアリ、此サキ

ヲオフハ、警蹕ノモノ、サキヲハラフニハアルヘカラス、レビ  
アリキナバ、車ノサキソチヘナドハナキラコエナルベシ

さし

つどひたる

色々ノノヒ  
トツニ出来ル

さいなまるく

災難ノ音ヨリ出タル詞ニヤ

さへき

サ、キヨビナド、  
アノシカルベキ夜

ナリ さきくつがへる

困サレクツガヘル、テヤウノヨシ  
ミトアリ、サレ過タル合ヤウノ

珍ラレキヲヨレアリ  
ト思ヘルサ、ナリ

さんさ

賀参座ナリ、大礼ノ行ル、  
時公卿ノ着成スルナリ

さだすぎゝる

サダハ比ト云キミナリ、其時分ラ過ル  
ナリ、然レ氏、詞ノ本ハ定、云、ノ、男ニ

テハ、妻ムカフベキコロ、女ニテハヨメリ、ザカリノ過タルヲ、バ、  
定、過タリト云、故ニ時節ノ過タルノ如キヨル所多シ、さ、た

さた

薬ナニ、サルヲサタクトケサ  
ヤカニト、ハ、サダカニ、分明ナル

さやか

サヤカニ  
モニア

ハセ玉ハズトアリ、サヤカトハ、サヤカノ略ニテ、清朗ノ茂  
ナリコ、ハレツカ、ト目モ見合サヌライヘリ

さるも

のよて

テサフル、キ、ハ、サアリテト  
イフ意ナリ、今云モ、ク、ロ、シ

さわかれ

たまふ

ワガ身ノサツガレクアレクナル  
サ、シ、日本紀ニ、瓜麿ヲサウネ、限

さへづる

サ



源語梯下止

海士ノサヘルトアリ。サヘルハ障出ノ義ニテ。轉ノ字ヲヨメリ。  
鳥ニイフ辞ナリ。日本紀ニ韓語ヲカラサヅリトヨメリ。スベテモ  
ノ、聞ワケガ多クカシ。さらぬわかし困サラス別  
ミレキヲ云ナルベシ。ゴカシ至フナトアリ。不サ別  
トハ死スルヲイフナリ。アリ早ク来ニ  
ト云フトイヘリ。さとはななくて横サヤウト  
さる乙サルガウガミレクワビレダニトアリ  
わらカガク猿樂ノ義ナリ。雅樂ニアラサルヲ云フ。さるカカ  
樂ニカキアハセテサウガシ。玉ヘルトアリ。唱歌ナリ。さーすま万葉ニ指  
ヨメリ。サレ出ル。サレ。さらがち及手跡ヲカ  
出テカレコタテラスルヲ云。クニ草文字

送草ノ手  
ニカチノ野  
ニ尺目ゼテト  
アルモカニハ  
今ノイロハ  
ナニス俗ニ云  
万葉假名  
アリコレヲナ  
タラカナ草  
字ニテ登ラ  
云ナルベシ

ノ多キ。草トハ假名ノナルベシ。此次ニイカレルナリト云ハツヨキ  
筆勢ナルベシ。又ソノスチトモニエストアルハタレヲ書シ書翰氏  
見エ又ナルベシ。又中サダノスチトイヘルハ上代。さしサシラへ  
ノ風ニアラズ。中ゴロノ書翰ト云フナルベシ。な植コハ女ノ男ノ家ヨリ。別レテカヘル時ノコトバナリ。  
なトモカクモサスラナントイヘリ。身ノヨルベナキナリ。  
さコレハ香炉ノ火ヲ人ニウ  
さチカケタルヲイヘリ。サト  
トハ合テ云サツトシイカケハカケ。さ葉志サながらウシテ  
ルニテイハソヘタルコトバナリ。井ナガ  
井ナガ。さ言らガへりテ  
ラナリ。虫サラニ立。カ虫タ今テノ世ニザエモスクレユダ  
カヘリテナリ。さ年サキライト心シテイヒツクケ

廿



タリトアリ。コハ佛經ヲ講スル辨ヲイヘリ。寃、吻ノ字ヲエ  
ウケキサキヲトヨムベシ。和名抄ニ。説文ヲ引テ。唇ヲクヂル  
吻ヲクチサキヲトセリ。ユタケキ

さかーだつ

俗ニ云身持

ブリヲスルナリ。さふりもよ、となく

総サク  
リハ俗ニ

云シヤクリナリ。シヤクリアケテナク。トイフヨ、ハナク声  
ナリサクリハ小瀬ノ義丸ヘレ。嘔吐ヲタクリト云ニムカヘシ

カ。習。所ノサガニヤト。心ウク思玉ヘナリニレ。後ハトアリ。案ルニ  
性ノ字ヲ神代紀ニサトヨメリ。ソレヨリ轉メオスレノキニモ

イヘリ。悪ノ字ヲサガトヨメルト注セシ  
ハアヤリシ。悪ハサガテトコソヨムベケレ

天地時候。さふらひ

相臣下ノ伺候スル所ヲ云ヘリ。  
万葉ニ佐守布ヲモラフトヨ

メレハ狭守ノ義ニテ。侍ヲ以テ。士ノ名目トセル  
ナリ。殿上ヲサレテサフヲヒトイヘル。侍所ノ義ニ

ち。壺障子ヨリノ入口ナリ。サウジトハ

壺

ツコロシ。魁ビヲ云。ツハ助語ナリ

さーき

葵。所々ノ御サジキニツクシ  
タルニツラヒトアリ。日本紀ニ

假座ヲサスキトヨメリ。礼ノ古点ニ座ヲサレオクトヨメリ。  
座ハ所以蔵食物ト云。今棧敷ト書ハ非シ。狹席ナルヘシ

ナ。サトシトハ前表ヲ云。世ニワザハヒナドアラントテ。人ニ金悟  
玉ヲ云。万葉ニ怪ノ字ヲヨシ。左傳ニ祥ヲヨメリ。祥ハ吉凶

ノ先見ル、モノト注セリ。ざけ

相邪氣ニ云

さとびたる

東里ハ宮ニ對シテイフ言シ。今イハ、町ヤナド、イハ一  
ガ如シ。サトビタルトハ、町ヤメクトイフキミシ。ヒハブリシ



人倫

さうどみ

帯 所々ニ多ク出タル詞ナリ。正  
身ト書テ音ノ轉セルナリ。

ハ王人タル女ヲサシテイヘリ。今御  
本人ト云フ詞ニアタル又男ニモイヘリ

さがりむ

女ノ髪  
ノサカリ

さふらひわらえ

頁 ヲカシゲナルサフ  
ワラハハスガタコノ

さをに

末色ハ雪ハツカレウ白ウサヲニ  
トアリ。人ノ色ノ白スギテ青サ

さらむひ

イトラレゲニサスバヒトアリ。甚ク  
ヤセタルナリ。サラバヒトハ膝行匍匐

さかしまいと

賢又明達ノ字ヲサカ  
シト日本紀ニヨリテ

ノ義ナ  
ルベシ

美ナリ。榮ト云ハ幸行ノ意ナルベシ。  
コハツヨク達者ナル人ライヘリ

生植

されたるくれけ

頁 サハ晒スノ義。  
年ヘテヤセオトロ

ヘタル竹ナリ。タケトハ昔シ吳國ヨリ来レル一種。竹ニテ今カキチク  
云フモノナリトイヘリ。吳ヲタケト云ハ高麗ノ久礼波久礼志ノニス

ルベセシ。日本紀ニ見エタリ。サレド  
スヘテノ竹ヲモタケト哥ニモヨメリ

さうやく

草藥ナリ  
極熱ノ草

藥トハニラニシクノ類ヲ云フナリ。コハヒルヲ  
サレテ云蒜ナリ。此帚ニ出タルヲ誤テ前後セリ

服食

さうじのかみ

帚 サウジノ紙ヨリモリタル  
トアリ。障子ノ紙ノヤブレヨ

器財

さきのまつ

頁 タイニツシ。タイ松  
ハサキヘモタヌ故ナリ。さく

リモレキ

コユルシ

乙 サクシリオヨスケタル人立。ジリテトアリ。クシ  
トハ鱧ニテモノ。結ボフレタルヲ。ホドキサバクモノ







アラソ ハキニチヲハオナジ年ナレドイフカ  
フしき ナリトアリ ちら ナリト注セリ

イカ、アルベレ此詞又 夏人カラモキヤ  
蜻蛉日記ニモニエタリ ウサクトアリカウ

サクト讀ナリホメタル詞ニト注セリ又 薩ニ禄ナドイトキヤウ  
サクニトアリヨキカツケモノヲ多クコシラヘオカレタルイヘリス

ベテ詩ノ警言策ヨリ出タルニヤ 積キスクニ書  
詞ノ義未詳故別ニコレヲ出セリ 玉ヒテトアリ文

ノ詞ニカザル一モナクアリノニ、ニカケルナリキハ生レノマ、  
ナリスグハ直ニ 音ニモイトメニキスグ人ニテオハストアリ

天地 時候

さりかけ

貞キリカケダツモノニイトアラヤカチ  
ルカヅフノゴ、チヨゲニハヒカ、レルニ

白キ花ソ、オノレヒトリエニノニユヒラケタルトアリ。扱ラツラチニ  
垣ナドニシタルモノニト注セリ。今ノ堀ノ如クニテ、屋根ヲ一方長

クニタルモノナルベレ堂ヲ射ルケイコニコシラエタルヲリカケト  
云其如クナルモノナラシカソレニタ魚ノハビノホリタルケレキナリ

たおもてだつ 南 かわ 北 北オモテタツカダニメレ

ノ所トシ北ハ内シマウノ方トス唐ニテモ女ノ  
居ル所ヲ北堂トイヘリ 北 方トイヘルモ此義

人倫 支体 夏 后ニソナヘントカ子テア  
ささき テ置シカ子トハ前カタカラ かね

ト云キミシキサキトハ、 御 君幸ノ義カキサイハ 菜 さしたのまんどころ

殿ノ名ニテスクニ人ノ号トスルハ、其名ヲ直ニイフヲハカリテシ。  
コハ紫ノ上ヲサセリ。凡ソ三公ノ妻ヲサレテイフコトハナルベレ

服食 器財 帯 キヌノオトナヒ、バラク  
子、ぬのねとなひ トシテトアリ女ノ襦袢

キ



ノ音ノスルニ又宴ニソラタキモノイトケウトククエリテキヌノ音  
ナヒトアルハ衣ニトメタル香ノキコユルシ・緋ヲキヌトヨメルハ音ヲ以  
テ訓トセルシケトキハ五音通シ又トシハモトヨリ  
相通ヘリ竹取モノカタリニハキヌラケヌトモミエタリ

さうーき

くわん

末ギレキクワシノ子リ出タルビゲモチオホエ  
テトアリ。儀式官トテ弁火納言内記外記

史ナドヲ云ト注セリコレラハ太政官ノ被官ニテ政事ニカ、  
レリ。儀式官ハ式部ナルベシ。礼儀法式ヲ掌ルナリ。コ、ハ古風ニ  
オゴソカニテサレバマヌヲ儀式官ト  
イヘリ。其装ヲ以テ此部ニ収ム  
云ナリ。枕几帳ヨセ几帳  
ナドモ見エタリ

ちやう

松原ニ  
帳アル

ゆ

虚詞  
人事

ゆ、ーき

困ユレキ身ニ侍トアリイ  
コクレキ意ニ更衣ノ母ノ年

老テカル不幸ニアビタルハイマクシキトイヘルハスヘテユレキト  
云詞ハ思ノ字ヲ古来アテ、善悪ニ通ズル詞トモ注セリ、此  
此物語ナドモ其所ニヨリテ甚シキコトモ。  
心モトナキ意ニモオゴソカナルキニモ用ヒタリ。ゆゑづけ

て

帯オゴソカラヒトツユエツケテトアリ。其事ヲ  
大概ニシオホセタルシヒトツトハ一執云アルヲ云フ

ゆゑよ

一

ア、リノユエヨシ心バヘウチソシタラントアリ。故ハ種姓ナドニヤ。  
由ハヨセアルナラシメ女ノ種姓モヨクシキニ縁アルハ

ゆくりなく

頁イザヨフ月ニタリナクアケカレン  
ヲトアリ。オモヒヨラヌシ。日本紀ニ不

意ノ字ヲ  
ヨセタリ。

ゆほびか

紫タビ海ノ面テヲ見ワタレタルホ  
カドナシヤレクコト所ニ似ズユホビカ

ユ



ナル所ニ侍リトアリ。寛大ノ意ト注セリ。ゆくてユクテ

コハ海上ノ風景ニロゾト打ハレタライヘリ。ゆめをあそぶユメヲ

トハナホサリニモトアリ。ツイデツイデ

ナリ。外へ行ツイテトイフキミシ。ゆめをあそぶユメヲ

るル 夢ノ吉凶ユメノキウキウ ゆふまどひユフマドヒ 未宵寐ミヨソノイ 夢ユメ

したまふおんてつきシタマフオンテツキ 賀カ 子コ 御ホドニミコノミ

御手ツキイトウツクシケレトアリ。ユトハ琴ウタハコト

ラヒクニ左ノ手ニテ糸ヲ押テ吟ラ出ヌヲ云。ゆすりみユスリミ

ちてチテ 琴コト 所々ノ御上フラヒノ使ナド立コミタレトエキコエガコト

本紀ニヨメルヨシアレドスベテユルト云詞日本紀ニナレ。但ユルトユユ

ルトハ同詞ナリ。万葉ニ玉ユラトイフニ玉響タマノニギハヤヒトカキタレハ響ヒビノ字ユユ

スルトヨムミジキニアラズ。ゆくゆくとユクユクト 榊コト ヲククト宮ミヤ

動キサワグサト注セリ。ゆくるユクル 玉タマ ヲトアリ。カニヨミカニヨミ

玉フトアリ。アリノニニ弘徽殿ニニ 申サルト注セ

ナリ。ノドカニ經ノドカニ ゆくりかユクリカ 乙ニ 我心ニニカセタラシニニ

ヨミ玉ヘルナリ。ゆくりかユクリカ ヲククリカニナラシモトアリ。注ニニ

ユクリカハ不意ナリ。思ヒヤリモナクトシトアリ。案ニ不意ハ日本ニ

紀ニユクリナクトヨミテ。思ヒモヨラヌト云フナリ。思ヒヤリナキト云ニ

トハ意違ヘリ。不意ノ義ナラバユクリカノカノ字無用ナルベシ。万ニ

葉ニ大舟ノユクラクハユクラカハユタハタユタフハアタヨミテ。俗ニ

ユ



ナガラモユクリカニアハツケキトオボシレラルトアルモ  
ユタカ丸ト云テ以テ考レハ手ノビニ實ナキコトオモヒ玉フニ  
ゆる

びなき  
野ユルビナキ御ナカラヒトアリヘダテ  
ナキ間ナリヘダテアレハユルグユエナリ  
ゆし

あんする  
葉ユルハ左ノ手前ニ見ユアンハ右ノ  
手ニ琴ヲヒク時ノ手ツキナリ  
ゆが

み  
寄声ウチユカミトアリ  
モイヒノナリタルナリ  
竹ユラツケテ四位ノ侍従参リ至  
リトアリユフカ冬ナリテし

天地  
ゆふつけて

人倫  
ゆげいのみせうぬ  
和ユゲイノ命婦云  
ヲツカバトアリ靴負

支体  
ト書リ左右ノ衛門ハ弓箭ヲ帶スル役ナル故ニ靴負ハ矢  
ヲ入ル矢籠ヲ云命婦ハ女官ニ禁中ニアルヲ内命婦トイヒ

臣下ノ妻ニモ命婦ヲツトムルアリ是ハ外命婦ナリ此命婦ノ  
夫靴負ナルニヨリユゲイノ命婦トイヘリスベテ官女ハ其父兄  
夫ノ官名ヲ以テ呼フト見エタリ今モ禁中ニ侍フ女房ノ中ニ  
内侍ヨリ次ニ御下ト云アリテ其中ニ命婦女蔵トテアハシ

ゆする  
萎アマレサニ御ユスルニ井ルトアリ  
女ノ髪アラフナリ

服食  
ゆるしいろ  
暎ユルし色ノワリナウウハシラ  
ミタル下カサ子トアリ紅紫ノ

深キ色ハ赤赤色ナリ浅キハユルサ  
レタル色ニコハ紅ノウスキヲイヘリ  
ゆみのけち  
宴  
右ノ

大将ノ弓ノケチニハ遠射ヲミコタチ多クツドヘ至ヒテトアリ弓ノ纏  
トハ弓ヲ射テ勝負ヲサダムルナリモト禁中ニテアルヲ  
右大臣ノ家ニテ其マナビヲセラルハ踏哥ノ後宴ニ  
足下ナリケチノ義未詳或ハミケカチノ上畧セル詞ニヤ  
ゆす

ユ



るつろ 案注ニビシタラヒノ類ト見エタリ

め

虚詞 人事

めざましき

和メサミシキモノニオトシメソ子ニ玉フトアリ注ニ冷眼

ナド書テメモスサシクニルニ世俗ニ目ニアルヤウナルヲ云カトイヘリ 掃ニ心モナクテメザシキアルジナラントノ多ヘリ也アリ

見テオドロク めかす ソレト公明ニ見ユルヲニ めやす イヘリ上手メカスナド

見ヨキ めなれたる也 未多見 めろつ 及ヒタル

し 宴ソレヨリソレト めもあや 慶メモアヤナル御次第ニウツリミル

見ルニアリニウルハシク却テ 柳戚夫人ノ見 めのやう ケシメノヤウニト

アリ見ケニウキメヤウニトイフ めをあやまつ

三カドノ御目ヲサヘアヤミツトアリ めぐらひ 至

人ノ目ヲヌスムトイフ意ナルベシ め 案文ヲヨム

ナリ世ニメダリ めれいとま 案文ヲヨム

スムライヘリ め 案文ヲヨム

マドルヲ めであさみ 案文ヲヨム

イヘル ハ明石ノ老尼ノシアハセヨキヲメデ

ナガラソ子ムヤウノ女心ヲイヘルナリ 相縁ノト注セレド便道トイフ

天地 めだろ 案文ヲヨム

時候 めだろ 案文ヲヨム

メ



ヲフニユク道ナルベシ和名抄ニ馬道ト書テ向堂之  
道ト注セリアル時ハメタウノトヲサレユメテトアリ

人倫 **めもきりて** 帝御カキサマモモモキリテ  
心エヌスクセウナソヘケル身

支躰 ヲトアリ。涙ニテ目ノクラムサミシキリテトハサヘギルナリ。  
キ務ト云モサヘキリヘタツモノナレハイヘリ。又幸ニメラキラシ

ケニ氏 **めねや** 葵母 **めしうど** 蝶 メレウド  
トカニクゲニ

ナノリスル人アリトイヘリ。  
名人ナリ妾ヲ云シ

み

虚詞 **みだてなく** 帝ヨロツニミダテナク物ヲキト  
アリ。身スボラシキトイフガ如シ

みさほに ミサホニモテツケテミラルハニト  
アリ。ミサホハ常住不断ニト云意 **みま**

ろき 身ノウゴキ  
ヨルサマナリ **みだけさうじ** 良御嶽  
大和ノ金

精進シテマ井ルヲナリ **みま** 葵目ニニ  
スミス世ニハ

カ、ルコソ多クシトイヘリ。 **みこき** 神御国忌ナリ。  
天子ノ御忌日

見来ルニトイヘルキミシ **みな** 思ヒナレト  
云ガ如シ **みふ** 封

ナリ。太上天皇ニ千戸。三宮各千五百戸ナリ。 **みちか**

此戸ヨリ出ルニツギヲ御蔵入トスルナリ。 **みをつこ** 零ウキ身ヲツミ侍  
ルニモトアリ。我身ニ



ツミサレテト 松 ミナレソナレテ **みなまきそふき** 別ル、ホドハトア

リ。見テ馴レ。傍テ **みまやす** 音見テ賞美スルナリ ハヤストハ榮アラスナリ

みそもしあま 夏 哥 ライヘリ 三十文字 アリ コ モ ジ ヲ 畧 シ テ

イハズミソモジアミリモト **みあふるほとも**

スエアハヌ哥トアリ **みやび** 葉 モノ ミヤビフ

ナキノ意ニテ急ナルサナリ カクトアリ ミヤビトハ宮 ブリナリ 日本紀ニ藻ノ字ヲミヤビト ヨメリ 文采ノウルハレキ ライヘリ ミヤビヤカト云モ同シ 辞ナリ

み、とからぬ 耳 ニ 物 ノ 音 ヲ エ **みたてま** キ、ワカヌナリ

つりたまふ ヨロヅニ見奉リ 玉フトアリ コ、ハ人ノ 病ヲトリ アツカフ 看 病 ヲ イヘリ

みづもるまししく 寄 人ト我トノ間ノシタレタ ヘダテ ナキ ヲ タテ 上 テ イヘリ

みくるしきわざかな ミル 目ノ ク シ キ 見 タ カラ ヌ ヲ 云 ニ

みし 東 タカキ モ ミ ジ カ キ モ ト アリ 貴 賤 ヲ イフ ニ 短 ハ イ ヤ レ キ ナリ

みやすみどころ 相 御 休 **みづの** 息 所 シ

こゝろむ 歸 水 ノ 心 バ ヘ ナ ド サ ル カ タ ニ ヲ カ シ ク シ ナ レ タ リ 泉 水 ノ 家 ニ 近 キ ヤ ウ ニ 納 涼

コハ夏ニテイヘリ **みくしげどの** 將 衣 東 ヲ 調 フル 所



ナリクレケトハ御匣 **みあかし** 頁佛前ノト **みさ**  
ナルニ覺東ナシ モレ火ナリ

ナ ミサウノツカサメシテ **みまろ** 牛馬ヲ **みく**  
トアリ。莊園ナリ。領地ニ 飼ノ所

らま 土蔵ナリ。ニチハヒトツ **みづのおとな**  
ヒトツヘテアル故ナリ

ひ 松ツクロハレタル水ノオトナヒトアリ。石ニアタリテ水ノ音 **みづ**  
スルヤウニツクリタルヤリ水ナリ。 乙ニモヤリ水ノ音

サルベキ岩ヲタテ **みづむまろ** 畜水驛ナリ。本ハ宇  
クハヘテ庄イヘリ 佐ノ使ヨリイヒ出タ

ル言ナリ。驛ニテ湯水バカリ。又馬ニ給スルヲイフ。人ハ飯ヲク  
ヒ。馬ハミクサカフヲ飯ム。ヤト云ナリ。禁中ニテ男脚踏哥ノ

時。人々ニ飲食ヲモテナス。ニ倍リ用フ。コヨリカレコニユ  
キテノミクフニヨリテナリ。丁寧ニ饗食。應アレバ飯ム。ヤトイフ

**みあき** 藤御生ト書ク賀茂祭ノ日ノ一之旧説ニ玉  
依姫ノ別雷神ヲ生タマフ所ヲ云トイヘリ

人倫 **みづら** 和童子ノアゲマキナリ。蝶ニカヂトリ  
支体 サラサスワラハ皆ミツラユヒテモロコシダ、

セテトアリ。注ニミツラハ角髪トイヘリ。按ニ髪ヲ両所ニワ  
ケタルが如キ故角髪トイフ。欽ミツラハ屈髪ナリト和名ニ注也

**みやすところ** 注ニ皇子ヲ生奉リテ後  
ミヤス所トイフヤウニ此モノ

語ニ見エタリコ、モ更衣ノコヲ **み**、**はさこ**  
イヘル。源氏ヲ生タル故ナリ

ち 帝女ノサゲタル髪ヲ耳ニハサム。髪ヲツクロハ又サ、  
又女ノコトヲナス時ニモ耳ニハサムト見エタリカヒクシ

キサ、ナル **みつとくみて** 良老人ノ身ノカバ  
笛ニモ出タリ ニリタルヲ云ナリ



ミツワノ美別ニ 注セルモノアリ みつのととも 末琴詩酒ノミツ み

め 大御妻ナリコハ天子ノ み、かたからぬ 葉朝

夏耳ノカタクナ、ラヌ ナリ。聞フノサトキニ みも志むるやう 葉朝

モナキ比ナレド身モシムルヤウニトアリ。甚オソルハ、フラスレ

バアツキ時モ身ノチムヤウニ覺ユルナリ。不寒而慄ト云 習老人ノ

類ナ ルシ み、ほのぶししく 耳トホクテ

ノ言ノアサヤカニ 聞エヌナリ 葉コレハ猫ラサレテイヘリ 生植 萬葉ニホト、ギスヲモトツ 氣形 万葉ニホト、ギスヲモトツ みしひとかこ

人。鷹ヲトホツ人 ナドヨメリ

服食 器財 みづし 帚書架ナリ御厨子ト書リ此

ヲ入ルモノヲ書 厨トイヘリ みやうかう 紫名アルタキモノナリ

タルニトアリ。此時イマダ伽羅沈ナトヲタク ナレタキモノトハイロクノ香物ヲ合セタルナリ みちのく

にかみ 末三チノクニカミノアツコエタルニトアリ 檀 紙ナリ 陸奥ヨリスキハジメタリ

そかけ 葵 ミツカケノ御サウゾクナド、カレイ しみふ ヤウニレカケラレタルニトアリ 御衣掛

だ アツヒニミフダケツラレテ ツカサモトラレテハシタナケレバ トアリ 殿上ノ名籍ナリ。官人ノ姓名官位ノカキツケニ



みてぐら イワノミテグラサゲサセ玉フテトアリ神ニ奉ル五色ノキヌシクラハ来居ノ義ニテ

神ノ其サ、グルモノ、  
来リ居玉フヲ云義 御衣 みぞひつ 櫃 みはか

し 零 三ハカレサルベキモノナド、 みなまごころ 御守リカナリ

も 蓬 身ニナ 虫 ヨルノ ミ みちやうのかたびら ミチヤウ

カタビラヲヨオモテナガラアゲテトアリ。旧説ニヨルノミチヤウハ常ノキヤウダイナリトイヘリ。或人ノ云。今ノ蚊帳ノヤウナルモノナリト。蚊帳ノ一トコロモ出ズイブカシキヲナリ。ゴノヨオモテト云ハヨヒラナラビタルナリ。四方ニトリカコミタルカ是又ハカリガタレ。常ノキヤウモ。夜ナド人ニアハヌ時ハヒキアゲオクト見エタリ。目安ノ説ニ夏角

意ハズビレノカタビラ  
ヲ四方ニカクルト云ヘリ

虚詞 人事 志ほたし 相 シホタレ衣トイヘリ。シメルトシ。塩ハシメルモノ故ナリ。涙ニテシメ

ルナリ。神宮ノイニ詞ニ哭ヲシホタルトイフ。志やえず 志 遊仙窟ニ泣涙ヲシホタルトヨメリ。

めかし 上手メカレトハ 志ねん 歸 自然ナリ。ジ子 三 其ケハヒコヨナカル

志ち 猶 ジチニナンヨリケルトアリ。シヂトハ 志 志ど 実 シシジツニヨロシキヲイヘリ

けなく ナ ホレハカリシドケナクキナレ玉テトアリ。衣 裳 ヲツクロハズキナス。今モ俗ニシドケナキト

シ



イフ言ニテ通ズ。  
無静氣ノ後シ

志うねまひと

心ツヨキ人シ  
今云フシト

キナリ 執念ノ字ヲヨメリ又蝶ニ  
シウ子クトメテニカリニケルトアリ

志ほ志みぬ

るひと

貞世ノ中ノトアルモシホジミタル人コソトアリ  
何事モヨクナレ覺エタル人ヲイフモノニツケル

フヲシホト云一入再入  
ノ如シ塩ト云ニハアラズ

志はぶきやと

此曉ヨリ  
シハブキヤ

ミテトアリ。  
咳嗽ノ病シ

志にかへり

死シタル人ノイキ  
カヘリタルヲ云フ

志あ

なし

無品トハ見  
所ノナキセシ

志づこゝろなき此

例ヨリモシヅ心ナキ 御シノヒアリキノウチニモトアリ。  
無静心ノ義ニテウカレサワグサナリ。鎮心ノ義モ通ズ。志

志こらかし

鑿シコラカシツル時ハウダテ侍ルヲトアリ。  
レゾコナフニゴハ瘡ヲ療スルヲノシ

ゾコナ 志めて

領シテシ我物トスルナリ 菜ニ心ニモシメ  
至ハザリシトアルモ 箏ノコトヲ心ニイレテ習

ハザルライヘリシメハ滌ナリ。心ニソミテシ又世ノ字ノ意ノ  
所モアリ。占モワガモノニスルヲナリ。トッノ字ヲモヨメリ。羨モヤハ

似タ 志はぶけバ

セキバラヒシテ  
オトナフナリ 志かく

カシカコソオハシニシタレトアリ。其人ヲ  
名サズシテカヤウクニト云ナリ

志たま川

待 志、由

君ガシハミニメケヌラントアリ。  
モノイハヌフナリトイヘリ

志かく

行幸チカクテシガクナドクシルコソツトアリ。  
試樂トテ樂ノナラシラスルヲナリ

志たりが

シ



ほ ミヅカラホコルサニナリモノ ヲ為得タル顔付ナリ 志たゝめあつ

ず 葵シタメハ下認ノ義ナルベシモノヲ トリシメ制スルヲ云コハエ制セヌ 志ほり

目ヲシボリツ見玉フトアリ老人見エ カヌル目ヲスリナドメ見ルシボル塩入流 志めやゐ

小 徐ノ字ノ義 志めたるたるも

の タキシメタルヲ云 志なえ 明シチエウラフレトアリシハ癸語ニテ葵ルナリ

志りうごと 乙アナムクツケヤシリウゴトヤ 志ぶく 今モイフ言ナリ心ニソニ又

又シリウゴチ用アリ

フラスル時ノサナリシブトハ 音ノ 志たゝり 音イ

カナルミヅカラノイハヒコトモモカナト 夏実ガ 志えう ナリ人カラ

ノカタクテ色ナドニ 幸宿徳ナリイトシ 志うとく ウトクニオモチアユミ

ヒナド大臣トイハニダグヒ玉(リト 志まじくしあ

イヘリ内大臣ノアリサマイフ 志ぬへくおぼゆ キゴトクニ思ヒテ俗ニ消タイト云フガ如

オロカナ 意 志どるもどる 梅ミダレタルサナリコハ

志りび イトシリビニ人ワロキゾヤトアリ汪ニ後ヨワ キナリトアリ次第ニサガリユク意ニ

②



シリ井カトイヘリ人 **志たか** 葉今云下地ナリ。世ノオモシトナリ至

フベキシタカタトアリヤカテ **志たやす** からぬ

寄オモテハサリゲナクモテ **志なく** ししか

オレテ心ノ内ニヤスカラヌナリ **志な** ゆるなる

**わらは** 東シナハワガ身カラシ **志な** ゆるなる

天地時候 **志んでん** 家ニテイフ下官ノ人ノ家ニテモ

イフ言 **志けらひ** 賀コハ家ノス **志めのほ**

カ 神神社 注連繩ナリコソリノ何 **志も** ヤ

人ハラノ居 **志な** どの **の** か **ぜ** 權ソノ世ノソニハニナ

トノ玉フトアリ 級長津級長戸辺ヲ凡ノ神トスルヲ神代

紀ニ見エタリシカレモコハタガ凡トイハニ料ニイヘルナリ

人倫 **志り** かけて **志れ** もの 朝

支体 **志づ** かな **る** **け** ケハ氣色ナリ 静 **志も**

文粹ニ白物ト書テシレモノトヨミ万葉ニ思入ヲシレタルヒトヨ **志り** め **に** **み** **た**

②



源語様下せ九

こせたまふ 紫ウチ見テシタ 志ばほち 新

意ナリ初テ出家シタルヲ云 志ばふるひつと 神コノモカ

レバフルヒ人ドモアツマリ井テトアリ注ニ老人ヲニトアリ紫貴人トスルハ非ニ 志たと ロバヤニモノイフニシタ

トキニ夏ニ 志めり 絵人ガモイタウレノリハツカシ

舌トキ氏イヘリ 志たつき 權サスカニシタツキニテウチザレントハ猶オモヘリトア

メルトヨマセタリ老附タルナリ 志た 和名抄一蟬縫ノ字ヲヨマセテ舌不正也ト注

セリニアヘタルモノイヒノ色メカシタルライヘリ 志た 和名抄一蟬縫ノ字ヲヨマセテ舌不正也ト注

くさ 玉種ナリ我身ヲ卑下ニシテ種地ノイヤレキトイハ意ナリ

生植 志み 姫シミトイフ出ノスニカニナリ

氣形 志る テトアリ衣魚ト書蟬ノ音ヲ用フ

服食 志る 和名抄ニ

器財 志る 注ノ字ヲウチ

ギトヨメリ又襪ニ作ル打着ノ義ニテ婦人ノ上衣也ト注セリサレド男女通用セリ又小袴アリ婦人ノ服ナリウハギノ上ニ

着ルモノナリ但カラギヌヲ 志る 原紙

キル時ハ小袴ヲキガル例ナリ 志る 燭

末キタナゲナルシビラヒキユヒツケタルコレツキトアリ 志る ウハ裳ノ上ニ着女カラ裳ノ上ニキルナリ

し 志る

の 志る

あ 志る

ふ 志る

シ

ね 宴注ニ檜扇ノ両方ノ上三重ツウスエフニテツニニテ色々ノ糸ニテトゲテ末ヲアハビムスヒニシテ置タルニ



トイ **志ぢ**

**葵** シバトモニナオシララレテスバロナル車ノ  
ヘリ **志ぢ** ドウニウチカケタリトアリ **榻** ハ床也ト注シテ

崩ルノ類ナリコハ車榻ナリ車ニノリオリノ時ノ足 **志**  
ツギニ車ヲタツルトキハナガエラモタスモノナリ

**やう**

**種** 常ニ鎖ノ字ヲ用音義未詳  
万葉ニ櫃ニ鑿刺トアル是ナルベシ

**おばう**

**音ヨ**  
シアル

火桶ニ侍後ヲクユラシテモノコトニ  
シメタルトアリ侍従ハタキモノノ名ニ

**ゑん** 併ニ取

虚詞  
人事

**ゑんずれハ**

**帚** 然ノ音ヲ用フウラムルナリ  
モノエニジナドハイヘリ

**ゑん**

艶ノ字ヲ音ニテ用ヒ  
タルナリウハシキヲ云

**ゑんだちけ**

**しきはまんひとは**

**原色** ラトリツ  
クロヒニア風流メ

カスルナリ俗ニゼイトイフガ如シ下ニエニナルコチシテ  
トアルモ艶ナリ華美ナルサマヲモイヘリ

**ゑい** **なとし**

**賀** 詠ナドシ玉フトアルハ  
詠曲ヲ云フナルベシ

**えう**

**し**

**蓬** サルモノエウレテトアルエウハ要ノ字  
ニテモトムル意ニ又其物ヲ得ニト思フ

**ゑい** **ひ志**

(五)



まきて 乙酒ニ酔テ甚キ 志りふかう 幸

此詞土佐日記ニモアリ

支体 人倫 志みのまゆひらく 貞笑フコ

花ノヒラケタ えせずれう 葵エセハヨカラヌ

領ナ

服食 器財 えびのか 束エヒノカイトナツカレウカヲリ出

ニウツスタキ えいまる 葵エヒニキタヘルヤツリス

凶服ノ時 ナリ えんにすきたるぢんむ

こ 絵 エニニスキタルヂニバゴニオナレキ心葉ノサレタルトア

注ニ見

ひ

虚詞 人事 ひたふる 桐永ノ字ヲ日本紀ニヨメリ此

ノ意ナリ前後ヨカヘリニズカタ一サウニスルナリ 葵又蓬  
ニヌスピトナドイフヒタフル心トモイヒ又 玉 ニケフハイトヒタフ  
ルニレヒテサフヒツル氏海賊ノヒタフルナラシヒアリ日本  
紀ニヒタフルノ文字カレコレアレド既切トカケルヤ此詞ニカ

ヒ



ナフベキツキ子ヲフ意ニ  
テ永ノ字ヨリ轉セルニ  
外ヨリ人ノ見  
テヨカラヌ

ひときざみ 位一級 ひきつくるひ

歸ヨク人ヲラレヘ  
ミチビクナリ  
ひ、らきわたたり 物サダメノハカ

セトナリテ、ヒ、ラキ井タリト  
アリ、引ヒラキテ坐ヲ改テ居ニ  
ひきかなぐる 引ノケル

物ヲトリノケル  
ヲカナタルトイフ  
びんなる 人ヲアハレム言ナリ、イデラレキヲニモイタ

ハレキコ  
モイヘリ  
ひたよこもり 歸エニナル哥モヨズケレキバメルセウソコ

モセテイトヒタヤコモリニナサケナカリシカハアヘナキコチ  
レテトアリ 六ニゴ、ロクルレキコ、ヒタヤコモリニテヤハ

ツ子ナキ世ニトアリ 雲ニアキラニキコエサスルモアヤナケレドヨ

ベノツミハヒタヤコモリニヤトアリ、ヒタヤコモリノ、諸注説

説アレ、氏、只、一、筋ナルト、聞テ宜シカルベシ、詞ノツフニコ  
モルト云フノアルニナツミテ、コモルコヲオモニ見ル時ハ、解ヲ

アヤニツズレ、コモルハ其事ノコモルニテ、  
身ノコモル意ニハ、アラスルベシ  
ひとやりか

らぬ 我心カラナリ、他人ヨリ我 ひさうち

こ ヒサウナキイヘトウツレトアリ、無美捕主人トイヘル

トウツレト、ベテイヘルニテ、  
家童子ノ、幾ト思フベカ交  
ひそみ 老女ノロチツ ひ

あやうし 良ヒアヤウシト、アツカリガ、サウシノカタヘ  
イヌルナリトアリ、火危ト夜ニハリノ呼

ヒ



ヌグル ヒレクトフミナラ ひーく シトアリ足音ナリ ひとわ

き 末人ニエリキ ひひとわたり 賀一ノ度ナリ

ラヒアルナリ ひひと 間ノ字ノ義 ひきし コハ琴ヲラシヘ

ルニ一度ニテヨク ひと ヒニナルナリ ひきし

らふ 帯ヲヒキトキテヌガセ玉ハヌガレトスニラトカク ひきし ヒキレラフトアリ

ひきし 帯ヲトカジト引アラソク ひきし ヒキレラフトアリ

とり 葵今ハシラレトヒトツ ひた ヒトツ ひた ヒトツ

に 柵ワキヒラフミズトスデ ひた ヒトツ ひた ヒトツ

へ次第ノニオモムク ニオモヒコムナリ ひとふし 一事 ひた

勢ノトニラヌナリ ナリ ひとふし ナリ ひた

ふけたらんすまひ 人ニケクシタケタラニ ひ

べレトアリ注ニヒタクハ人シケクニギハ スニヒハイトホイナカル ひ

リ人シケキ本意ニアラスト シカクル、ナクハレグレシキラヒ ひ

タ、クト云フ紫式部日記ニナトテヒタ、テサレイツヘキノトア ル傍注ニ日爛ト書タリ此詞 ひ

高貴ノ人ノ権 零ヒチ、コニアイギ ひぢ、かに ヤウツキタマヘルケハヒ

トアリ注ニ人デカナル トアリ ひめて トアリ ひそみこ、ろにもれおもひ

ヒ







ひがき 貝檜垣トイフモノアタラシウシテ ひたき トアリ檜皮ニテコシラスタル垣

や 神注ニ神供ナドシ ひぢがさあめ 神注ニ神供ナドシ

雨トカフリキテイトアハタシケレバトアリ。俄ニフル雨ナリ。雨ニカレラシヌラサレト。手ヲサシアゲテ。聲ヲ望ノ如ク

スルヲ以テ ひふり イトカクチクソコトホルバカリノヒ

ひがんのころほひ 二月八月ノ彼岸ナ

玉フトアリ。契河ノ説ニ彼岸トイフハ天竺ニナキナリ。日本ニテハジミルカトイヘリ。又河海ニ引レタル彼岸斎法成道

經ト云モノ。蔵經ノ目錄 ひとのまよひ ユラギニモ見エズ。偽經ナルベシ

トヨヒニ對面セサセ玉フ ひらばり 夏オホミキ。井リ。

トアリ。クラニギレナリ ひらばり ヒミツメシテトアリ。

ヒヤ、カナル ひのど 風ハヨク吹ドモ日ノドカニ

水ナルベシ ひらばり トアリ。コ、ハ暑氣ノ時

昔、トカハイツミラ ひらばり 幸上達部ノヒ

モ聞ナルライヘリ ひらばり ラハリニモノ

井リトアリ。注ニアクノヤナド云所カカリヤナドノ躰ナル ひらばり 和

ベシ。李部王記ニ親王公卿着平張座トシルセリ。和 ひらばり 名ニ周礼ノ注ヲ引テ。平張曰帝。和名比良波利トイリ。案

ヒラハタヒラナリ。タヒラニハルナリ。今云テニク日オホヒ ひらばり 藤未ノ

ひつじくだる 下刻ナリ

人倫 支躰 ひきいれ 和元服ノ時ノ加冠ノ人ナリ

⑦



ヨリテイイひとへごゝろ 何ノ思慮モ ひさう ナキ心ナリ

帝ヒサウナキイヘトウシテイヘリ。美相シカホカタチヨクモナキトイヘルナリ。今モミダルシクビソノナキトイフシ旧注ニ

貧相トイヘルハひとが 人香シ其人ノニホヒシ ひと ニホヒトハ其ヤウスラ云

アヤコリナリ 末御ビシクキノレドケ さう ナキラツクロヒ玉フトア

リ。鬢ノ髪 柳ヒカオモテハハカ ひたおもて テカアラハレ玉ハントア

スチライフ 明入道琵琶 びはのほふし 法師ニナリテ

アハセテハナリ 此時ヨリ琵琶法師トイフモノ、アリケルニコソ ひるの

コ ヒルノコノ足ガサリレフ借テ三年ニナリレフライヘルシ 松ニ

ヒルコカヨハヒニヒナリケルヲト 零聖シヒリ ひまり ト云ハ日知ノ義

アルモ。三歳ニナリレトイフ 松ヒゲカ ひげかちに チニツナレ

ニテ。天子ノ御事シ。聖人ヲ 王ヒス ひすまし メクモ

タフトニテ天子ニ比レテイルシ レメクモ ひたひのいとちかや

ニクキカホトアリ。鬢ノ多キシ。 夏ヒタヒノ間ノセハレキシ 俗ニ猫ビタヒナトイ

フモノナルヘレシ。ヒタヒ イヤレキ ひもづ 榎ヤセオトロヘテヒハツトアリ。

イヤレキ モノシ 榎ヤセオトロヘテヒハツトアリ。 ヨロクトシクシ。常ニモイフ詞シ

モノシ ヒ



生植 氣形

ひねすみ

繪アベノオホレガチバノコガ子ヲヌテ、此鼠ノオモヒカタトキニキ

ユタルモイトアヘナレトアリ。此所スベテ竹取物語ノ「ひ」ヲ以テ書クアリ。彼物語ヲヨニテ自ラ解スベシ

もとく

雲前裁ドモコソ残りナクヒモトキ侍ニケトアリ。花ノサキカルシゴ、ニ花ヲイハズレテ

キカセ ひを

姫サレドヒヲモヨラヌヒヤトアリ。和名ニ魚ノ字ヲ出シテ。和名氷魚。鮎魚ニ似タリト

イヘリ。鮎ハシロ

ひをむし

何かハソノヒヲムシニアラソフ心ニテトアリ。和

名ニ蜻ヲ訓シ。朝生暮死。虫ナリト

ひそほし

注セリ。コハ蜻。水魚ニヨソヘタリ。夢ビキボシタテマソレタリツル事ニトアリ。海草ナルヘシト注ス。又沖云。海松ニテスルトニテタリ。蜻蛉日記ニニルノヒキボシト

服食 器財

ひそく

冨ニダイヒソクヤウノモロコレノモノナレド、アリ。ニダイハ御甚ト書テ

御膳ナドノ「ヒソクハ秘色ト書テ。青磁ノヤキモノナリ。陸龜蒙カ詩ニ「九秋風露越国開。夺得山峯秘色来」

トイヘル。越ノ国ヨリヤキ出ス所ノモノ。秘色トハ天子ノ御物ト云ガ如シ。千峯ト云ニテ其青キ色ヲラセタリ

とたまひ

葵人タマヒノオクニオシヤラレテトアリ。イト車ナリ。松ニヒトタマヒニヨロシキワカ人ワ

ラハバナドノセテトアリ。菜ノ下ニモ出テ。イツレモ副車ノ記アリ。氏ノレハカヘノ車ニテ人ハノラス。主人ノ車ニ事ノアツシ時ノ

乗カヘナリ。ヒトタマヒハツキクノ人ヲノスルナレハ供車ナリ。コレハ主人ヨリカシ玉ヲニヨリテ人タマヒトイフニコソ。人タ

マヒノ車トイフベキヲ。ヒわりご。ヲカレゲナルニワリ。畧シテイヒナフヘリ。ゴナトバカリヲトアリ。

(七)







しづき

世ニモテカレツキキコユレド、アリ。貴ビ  
愛スルシカレツキハカレコミツカフル義ナラシ

のあざやう

イツカタツケテモ、モノアサヤカナルニトア  
リ。時メキテ、何ニツケテモ、オホエキラク

レキナリ。凡モノト云ハゾト  
指ス一ツアリテ云フ辞ナリ

ものけなす

歸モ  
ノケチ

キスガタトアリ。トリツクロハヌサマシ。  
又モノクシカラスカロクシキサマヲモ云

ものむつり

しげ

コハ老人ノサノサラボヒ  
テギタナゲナルナリ

もの、あや

め

貞物ノ  
ワカナシ

もときくはひなん

紫幼キ人  
ヲヌスニ出

タリトモドキオヒナシトアリ。モドキトハ  
人ニトガメラル、モドキヲ我身ニ受ルシ

もてつけ

来タヲヤギタルケレキモテツ玉ヘリトアリ。  
クラヤギタルケレキニ身ヲモテ玉ヘリトアリ

ものとは

まゝさま

賀タガニギハクレンアル  
間ノヤウニレナスナリ

ものよふ

葵ワカクサカリノ子ニオクシタテ、ツリテ、モコヨフコト、ハ  
ナキ玉フトアリ。モコヨノハ足モク、ズレテハラバヒ行解ナリ。

日本紀ニ葡萄遠逸ノ字ヲ、ハヒモコヨフトヨメリコ、ハ  
年ヨリテ子ヲサキダテ、イキノコリタルサ、ヲイヘリ

の 音 ミスノ内ノオヒ風ナメカレク吹ニホハレテ、セノヨリ  
コトニケダカクオボサルトアリ。外ノモノヨリト云フ

キニ ナリ ちどかき

童人ノウヲカヒナシ  
オモフシ、今モイフ言シ

てなす

野饗應スルコトニテ、  
常ニモイフ言ナリ

ものつ、み

モ



し 菜モノゴトニ遠慮  
ヲシテツクシムナリ

天地時候 **も、ちぎ** 相百官ノ座ヲレクトニハ  
正説ニアラス万葉集ニ此

詞多キニ百磯城百師木百石木ナド書テ二所モ百  
敷ト書ルナレバイダ百官モ定ニラヌサキヨリノ言ハ  
按ニ百石木トカケルヤ正茂ナルベキ百トハ多數ヲ稱スル  
ノ言ナリ。訶コ、ロハ數ノ石ヲ以テ下ラカク多ク數ノ木ヲ  
以テ柱トシテ作レル大宮ト云意ナリ。石ヲレトヨムハ  
明石出石ナドノ類ナリ。昔ハモ、レギノ大宮トツケタル  
ニ中昔ヨリモ、レキトミイヒテ。  
ヤカテ禁中ノ御事ニナレルナリ **もや** 歸母屋ト書  
オモヤノ上畧ナリ。日本知天葉ナドノ哥ニオモフヲバ  
モフトノミヨメルニ准フベシ。母ヲ古言ニオモトイヘルハツダ

ツル恩ノ重キ故ナルレオモマラ本トシテサミクノ屋。ホ  
ソドノヒザレナドノ出来ルハ。ニタノ子ニ似タレバサテオモ  
ヤトハツケタ  
ルナルベシ

人倫 **もの、け** 此詞所々ニ出ツ。或ハ御産ノ時  
或ハ御重病ノ時。物怪ニ寄セテ

コレラ問ノ茂シ物怪ニツク **もんざう** はりせ  
女房ヲ物付ト云ナリ

魚モノガウハカモレダグワシモン **もの、ふし** 松注ニ  
ツラセ玉フトナリ。文章博士シ

舍人ノ中ニ東遊ニ達シタルモノヲ。 **もんじん** 近衛ノ  
物節ト稱ストイヘリ。猶考フベシ

さう **もんじん** ハ文章生ナリ。キサウ撰文章生ニ  
文人擬生トカクベシ。進士ヲ国々ヨリ貢スレバ

毛



ギソウ、し、文人ハ重ク擬生ハカコシ **もろご、ろ** 寄心ヲノコ

生植 **もろご** 葉花ノチリタル路ニ若葉ノ必レ

ナリ、黄ニ **もろご** 枝モナ **も、らと** 木ナリ

ハアラス **もろご** 法モ、チドリノサハツルモ、苦ノ音ニオトラヌコ、チ

リ **もろご** レテトアリ、万葉集ニ我カドノ子ニモリハムモ、チ

ニテ通ズレハ **もろご** チドリハクレド君、ソキニサエトヨメルモリトムレト、同音

テハムト云フニヤ、百千鳥、鳥ノ多キ、百千鳥、凡五百ツ鳥

上モヨメルニ同レ、百千鳥ト云、鳥ノ一名ニアズニ度々、ミ

テイフ時ハ、百千鳥ト云、鳥ノ一名ニアズニ度々、ミ

ハクレド、イフニテ知ルベレ

加食 **ものかたり** 器財 絵物語繪コソニハハ

レハトテトアリ物語ノ **せ** 三エテ見所アルモノナ

意ヲカケル繪ナリ **せ** ハトテトアリ

虚詞 **せうそこ** 相消息ト書テ音問ナリ消

人事 **せうそこ** 往し息ハ来ルし書音ハ往

来スル故消息ト云コレヨリ **せう** 文通ナラス凡

使ラマリテヤウスタツスルラモ消息ト云 **せう** 紫

テニキコエ玉ハナドアル **せめて** 切字ノ音ニテ切字ノ意ナレ

ナリ **せめて** 切字ノ音ニテ切字ノ意ナレ

テ **せ** 賀急ニ追ツクしセメテハセリテし年モセメツレハトイヘル



せんーがき

〔全云オホセガキナリ。天子ノオホセヲ女宮ノカク故。オヨソ代筆ヲ宣旨

書トイゼク

〔繪オノノセクナドツタリワタレテトアリ。絶句ノ詩ヲ各作ルナリ

服食 器財

せん志やう

〔イトオロソカニゼンシマツバカリヲ引メグラレテトアリ

注ニゼンヤウトヨセアリ。蜻蛉日記ニゼンシマツトアレバ今モサヨムベレ。堂上ニハゼンヤウヲタテ。堂下ニハ幔ヲヒクトイヘ

リ。軟障トカクトアリ。一せうさいせうさい〔夏説ニハ幕ナリトイフ。

ロクウヲ玉フ。手ライトセセオレモミニテ。セウサイセウサイイトイフ声ゾイトレタトキヤトアリ。注ニ小簀篲イヒサキメラ

コフナリ。オレモニテハ相手ノ簀篲ヲ取テモニタルシトアリ。簀篲ハ纂ノ字ナルベシ。其ニケテサスヲ纂ト云ニマシカフハ纂ハ其ノ

一ニツキタル字ニテ。双六ノ采トハ見エズ。和名抄ニ双六采。揚氏漢語抄云頭子。双六乃佐以上アリ。万葉集ニ詠双六哥アリテ。假字ニハ佐敷トアルモ。頭子ニ采ノ音ヲ和語ニ用タル。小采トハニミナドノヒサキ目ヲヒク。せんかう

れをーき

〔菜食物ヲノスルヲレキシ。セニカウハイカ丸故ヲレラス

虚詞 人事

すげなう

〔相スゲナウソ子ニ玉ヒレガトアリ。注ニ日本紀ニ無入望ト書ヨ

シアレ。日本紀ニアルトナレズゲナウトハスゴキ意ニテ。ナウハ用語ニ無ニ非ズ

すぐく

トモエマ井ラセタテニツ。玉ハ又ナリケリトアリ。ハヤクナリ。速有ト注スレ。サツハリト心ニカ。ラヌ。清ノ字ヲスカクレト神

ス







紀ニ以水送飯ヲトアル送ノ字ヲスクトヨメリウツボ物語ニ  
源少將ハ山ニ入レ日ヨリ穀ヲタチ松ノ葉ヲスキテトアリ

シカレバ食スルヲ古ハスクトイヘルナリモノヲスキコノムト  
云詞モコレヨリ出タルナルベシ又総ニ松ノ葉ヲスキテツ

トムルヤマ **すまふ** 賀中將ノ帯ヲヒキトキテヌガ  
セ玉ヘハヌガジトスニフヲトアリ人

トハリア **すさめぬ** 宴スニヌシ  
不愛ノ義アリ **すぐい**

たまへる ナスグイタマヘル年月  
トアリ過シ玉ヘルナリ **すぐく**

スグク レシツモテナシ玉ヒシ  
ヲトアリ健ナルト云ニ同シ **すまひをて**

たまはず 零スニヒハ辞  
退スルナリ **すり** イトヨクスリシ  
ツクヲヒケレバト

トアリ修 **すぎにほふ** 繪百フノホカラ多クスキ  
勻トアリ百歩ノ外テモ

遠ク勻ノ **すむながれ** 松オホミキアマタバビズム  
ナガレテトアリ孟ノ順ニメ

キコユルシ **すげみ** ガルーニ藤ニツギクニニナスニナガルトアルモ  
哥ヲ次第ク順ニヨミ出スフニエタリ

トアリ口噤シテ舌 **すくしつ** 乙サルモノ  
ワラヒナドス

マジクスクレツ **すくぐしき** トナセルナラニカクス  
一説ニクスレツト云ヲサカサニウ

ツレテスクレツ **すまし** 菜御  
グレス

音中將ナドヲハスク **すまし** レキオホヤケビト  
ニシナレテトアリ人ニスクレタルモノニセント

ス



マシトアルハ髪洗フヲイヘリト。延喜式ニハ **すすみすぎ**

洗人ヲスミトヨメリ。御湯ナドトノホルモノニヤ **すかや**

テ **箱**モノフカウナリ又ル人ノスミスギテカ、ル **すだろ**

タメシトアリ。清 **過**テハ法ニハツレタト云意 **すかや**

ハスカヤカニオボレダチケルホドヨ **すだろ**

カトアリ。速ナルナリト注セリ **すだろ**

ダキアハテ玉フニナラヒ玉ヒテトアリ。万葉ニ多集ノ字ヲスダク **すだろ**

トヨメリ。虫ノ多クアヅリヲカマヒスレキ意ニイヘリ。コハタ **すだろ**

雲ノ子達ノ多キ **すだろ**

ニイヘルナリ **すだろ**

天地 **すぐよかならぬ**

時候 **すぐよかならぬ**

シキコブカクトアリ。嶮岨ナラ又意ト注セリ。 **すすのこ**

健ノ字ヲスクヤカトヨメリ。不健ハタヒラカナル **すすのこ**

廊ノスノコダツモノトアリ。三代実録ニ實子ト書リ。 **すい**

床ノ下ニモイヒ。又掾ニモイヘリ。コハ竹ノエニイヘルナリ **すい**

カ、**末**スイガイノタ、スコレヲレノリタルカクレノカタニヨリ **すい**

垣 **橋**ニ竹ノ **すい**

スイガイニイヘリ **すい**

人倫 **すくえろ**

支躰 **すくえろ**

曜師ナリ。宿曜師昔ハツノ道ナリ。廿八宿 **すりまろ**

九曜ノ行度ヲモツテ人ノ運命ヲ **すりまろ**

修理職 **すくせ**

ナリ **すくせ**

トイヒテ人ノ国ノ事ニカ、ツラヒイトナミテトアリ。受領トハ諸国 **すくせ**

ノ守ヲイフ。國衙在園ノ事ヲトリ行フモノナリ。ヒトノ国トハ他 **すくせ**

ス **すくせ**



国ノイニテ都ヨリ **すやつばら**

玉サレ用スヤツバ  
ヲヒトレナニニ

井ナカラ指テイヘリ  
ハシ侍リナヤトアリ  
シヤツバラハ人ライヤシメイフ  
言ナリヒトシナニハ等シキ並ナリ

**すけ**

夢出家ナリ

音ヲ用フ

生植  
氣形

**すもり**

姫物ゴトノミスヲカタキニホダサレテワレ  
ゾスモリニナリヌベキカナトヨメリ 鳥

ノタゴノカヘラテ  
ク子タルライヘリ和名抄ニ暇ノ字ヲヨメリ

服食  
器用

**すきたるふる**

紫ヤガテソノ国ヨ  
リイレタルハコノカ

ラメイタルヲスキタルフクロニイレテトアリ契冲云透丸袋  
又細ニ結タル袋欵河海ニ引玉ヘル万葉ノ哥ハ不叶ナリ

**すはらのけそく**

繪 左ハヒタシノハコニスハ  
ウノケソクシキモノニハ

ムラサキノカラノ錦トアリ  
巻物ヲオクツクエナリ

**すおはん**

夏スイハシ  
ナドトリクニ

サウトキツクフトアリアツキ飯ヲ冷水ニテアラヒ  
冷汁ニテ食スルモノト注ス今テ云アラヒメレノ類ニヤ

源語梯下終



天明四年甲辰九月發行

京師書坊

出雲寺文次郎

同

吉田 四郎右衛門

同

風月 庄左衛門

同

粕淵 利兵衛

江戸書坊

須原 茂兵衛

大阪書坊

澁川 清右衛門

高橋 平助



